

Tarinof dance company

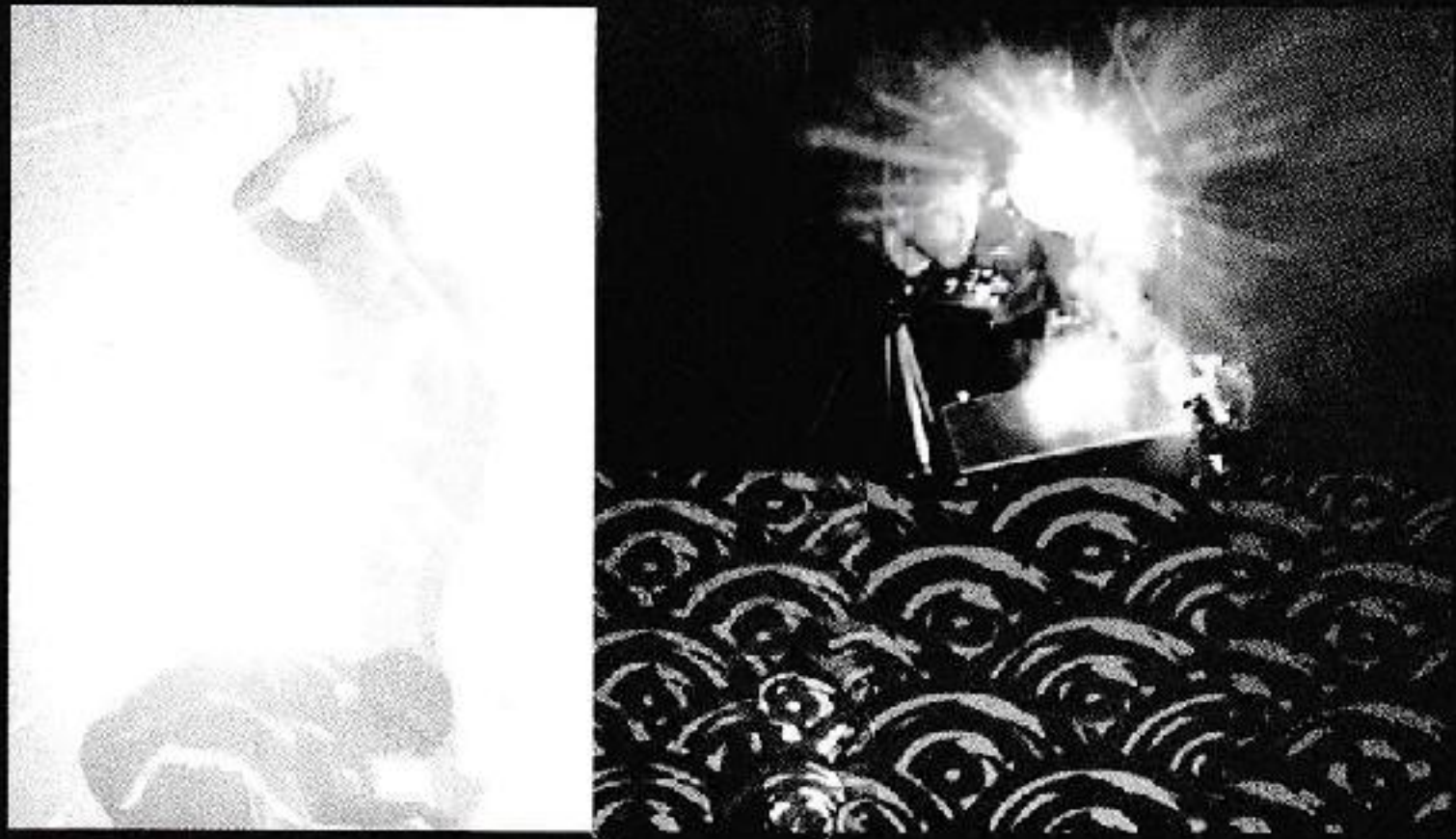
Mobilis-Immobilis



KURURI

2018.9.14fri 19:00 15sat 14:00 / 17:30
Tokyo Women's plaza Hall, Omote-sando

身体と音楽、映像がリアルタイムに交差するパフォーマンス『SURU-折衷-』を
フランス3都市で上演したプロジェクトチームが送る第二作。
今回は新たに邦楽・長唄の「声」を取り入れて、
有機的に関わりあいながら濃密な時空を創出する。



Tarinof dance company Mobilis-Immobilis
KURURI

演出・構成: Maflohé Passedouet (Mobilis-Immobilis)
振付: 長谷川まいこ、坂田 守 (Tarinof dance company)
出演: 映像 Etienne Bernardot
音楽 Stéphane Bissières
唄 杵屋佐喜
ダンス 川村真奈、坂田尚也、坂田 守

舞台監督: 川前英典 / 照明: 吉田一弥 / 音響: 竹本 仁 / 衣裳: 富永美夏
大道具: 七感弥志彰 (MICA) / 照明協力: 丸山武彦 / 通訳: 野崎夏世 / 制作: 滝沢麻衣

主催: Tarinof dance company
共催: Mobilis-Immobilis
協賛: MICAあそぶかね基金
助成: 笹川日仏財団



2018年9月14日(金) 19:00 15日(土) 14:00 / 17:30 開場は開演の30分前

東京ウィメンズプラザホール 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67

全席自由 一般前売 3,800円(当日4,300円) 学生前売 3,300円(当日3,800円) ※要学生証呈示
※未就学児の入場はご遠慮ください

2018年7月20日(金) 10:00発売

・Tarinof dance company オンラインチケット tarinofdancecompany.net
・Peatix(発券手数料なし) tarinofdancecompany.peatix.com
・Confetti(カンフェティ) www.confetti-web.com 0120-240-540(平日10:00-18:00)



お問合せ: Tarinof dance company タリノフダンスカンパニー
080-1282-8225(平日10:00-18:00) info@tarinofdancecompany.net
Facebook [tarinofdancecompany](https://www.facebook.com/tarinofdancecompany) Twitter/Instagram [tarinof_news](https://www.instagram.com/tarinof_news)



くるくるるとまわりまわってくるくる

[演出・構成]

Maflohé Passedouet

マフロネ・パスデュエ



カンパニー Mobilis-Immobilis 主宰。ビジュアルアーティスト。デジタルアート、ライブパフォーマンスなど多くの作品を手掛け、フランスを始めヨーロッパ各地のデジタルアートとダンスのフェスティバルに参加。身体とデジタル技術の接点を問いながらダンスとのコラボレーション作品を創作している。また、知覚障害、共感覚をテーマにインスタレーション作品も発表している。

www.mobilisimmobilis.com/

[振付・ダンス]

Tarinof dance company

タリノフダンスカンパニー



©Alexandre Kjuve

振付家・舞踊家の長谷川まいこと坂田守が2013年に設立。振付・構成・演出は協同で手掛けている。共に文化庁の新進芸術家海外研修制度によりフランス・パリに2年7ヶ月滞在。現在は日本を拠点に国内外での公演、振付、ワークショップなど様々な活動を展開している。2014年フランス・セルビア・イタリアの振付コンクールで1位。2017年韓国国際振付コンクールSCFでブルガリア・ATOM THEATER 招致賞。MASDANZA2016、横浜ダンスコレクション2018ファイナリスト。

[映像]

Etienne Bernardot

エティエンヌ・ベルナルド



1996年以来、CICV (Centre international de création vidéo Pierre Schaeffer) で多くの芸術家と共同作業したのち、2003年デジタルアートカンパニー KSKF を共同設立。映像技術と空間デザインを研究し、音楽や演劇のパフォーマンスで活用している。現在、現実と仮定の融合を探求し、音楽、ビデオ、光、身体との相互作用を引き出す作品を創造している。

[音楽]

Stéphane Bissières

ステファン・ビジエール



作曲家、ビジュアルアーティスト。モジュラーシンセサイザーで音を構築し、デジタルアート作品を手掛けている。SACEM、IMEBで1位受賞。フランスの公共ラジオ放送局 RADIO FRANCE の作曲家でもあり、フランスのレコードレーベル Signature Label と GRM とのコラボレーションも行う。また、エティエンヌ・ベルナルドとともに、bunq&ceb を設立しリアルタイムパフォーマンス作品を発表している。

[唄]

三代目・杵屋佐喜(長唄・唄方)

Saki Kinoya



©Shinobu Shimomura

父は江戸時代より続く長唄佐門家元、七代目・杵屋佐吉。母はジャズピアニスト。玉川大学文学部芸術学科音楽専攻卒業。第11回アジアクラシック音楽コンクール新人賞受賞。2002年佐喜の名を襲名。現在全国各地の演奏会、歌舞伎公演、日本舞踊会、NHKなどに出演多数。山形海老蔵NY・カーネギーホール公演、平成中村麻スベイン公演他、海外公演も多い。母方祖父は「七人の侍」などで知られる映画俳優の木村功。

[ダンス]

川村真奈 Mana Kawamura



幼少期から祖母が設立した舞井バレエ団・川村泉舞踊団にてダンスを習う。2002-2004年ドイツの Folkwang Hochschule に留学。2006年度文化庁新進芸術家留学制度によりニューヨークに留学し、以後ニューヨークで Kawamura the 3rd として活動し、様々な公演やフェスティバルに参加。2015年から日本を拠点に作品を発表。舞踏団・大路龍雄への客演やオペラ公演への出演など多様なジャンルで活躍中。
kawamurathc3rd.com

[ダンス]

坂田尚也 Naoya Sakata



コンテンポラリーダンスを能美健志、軽部裕美、クラシックバレエを榊瀬真澄に師事。能美健志作品をはじめ、カルメン・ワーナー、テロ・サーリネン、石井みどり、松崎すみ子、早川恵美子・博子、青木尚哉作品等に出演。自身でも自作ソロを発表。2016~2018年まで Noism に所属。